



2025年11月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ ニ カ ル
代表者名 代表取締役社長 秦野 和浩
(コード番号：2183 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員CFO 高橋 明宏
(TEL. 06-6150-2582)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2025年5月15日に公表いたしました2026年3月期通期(2025年4月1日～2026年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)において、繰延税金資産の取り崩しを行うことといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,200	300	320	150	6円64銭
今 回 修 正 予 想 (B)	9,350	△1,350	△1,400	△1,700	△75円27銭
増 減 額 (B－A)	△1,850	△1,650	△1,720	△1,850	
増 減 率 (%)	△16.5	－	－	－	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	10,437	△583	△498	△539	△23円87銭

2. 修正の理由

以下の理由から売上高が計画に届かず想定を下回ることとなり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、2025年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正が必要となったため、上記のとおり修正いたします。

日本においては、国内外の製薬会社から日本での大型案件を複数受託し受注状況は回復傾向にあり前年同期比で増収となる見込みですが、新薬開発が減少しドラッグロスが進展する厳しい事業環境の中、前期までに開発中止となった大型案件を補完し上回る新規案件の獲得が進まず今期の計画に届かない見通しとなりました。また、欧米においては、米国、欧州、豪州を含む複数の大型国際共同治験の契約締結手続きを進めており、契約が完了した一部は売上高に寄与しておりますが、大型案件終了に伴う売上減少を補うことができず、当初の計画に届かない見通しとなりました。また、韓国においては、既存案件の進捗遅れや新規案件の獲得が計画に比して低迷しております。

欧米、韓国の打診案件数は複数存在し、日本での受注状況も回復傾向にあり、業績改善に向けあらゆる施策を実行してまいります。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

現在の事業環境及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当中間連結会計期間において繰延税金資産を408百万円取り崩し、法人税等調整額の区分に計上いたしました。

（注）上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上